

行財政構造改革プランに基づく 南市民ホールの集約化(廃止)について

相模原市 市民局 文化振興課
令和4年11月16日・20日



南市民ホールの施設概要

名称	相模原南市民ホール				
所在地	南区相模大野5-31-1（南区合同庁舎横）				
延床面積	1,265㎡	収容人員	400人	開設年度	昭和58年（築39年）
利用料金（1日）	平日47,300円 （AM8,500円、PM16,800円、夜22,000円） ※平日直前割引：AM2,125円、PM4,200円 （利用日15日前～3日前まで75%割引） 休日61,400円 （AM13,000円、PM21,000円、夜27,400円）				
利用率（H30）	60.4%（年間1,006区分中608区分利用） ※区分：1日を午前・午後・夜間の3区分に分けて貸出				
利用率（R3）	63.3%（直前割引を除くと56.1%） ※直前割引は令和元年度から制度開始				

南市民ホールの集約化(廃止)について

(1)相模原市の財政状況

(2)公共施設の状況

(3)行財政構造改革プランとは

(4)南市民ホールが対象となった理由

(5)文化活動の継続について

(6)今後の取組

■相模原市の財政状況①

- 本市の令和4年度当初予算は3,112億円
うち、**扶助費(社会保障費)は990億円、**
施設の長寿命化経費は59億円

※年度途中の補正により現時点ではさらに増額されています

- 今後、高齢者の人口が増加することに伴い、扶助費(社会保障費)が増加する(全国的な傾向)
⇒令和9年度の**扶助費(社会保障費)は約1,067億円**
となる見込み
- 人口急増期に整備された公共施設の老朽化が進行
⇒令和9年度の**施設の長寿命化経費は約200億円**
となる見込み

税収が伸び悩む一方、必要な歳出は増加し続ける

■相模原市の財政状況②

今後、新規・拡充事業は計上しなくても、
令和9年度までに**約816億円**の累計赤字
(R2長期財政収支)



- 全ての施設を現状のまま維持していくことは困難
- 真に必要な行政サービスの提供すら維持できない



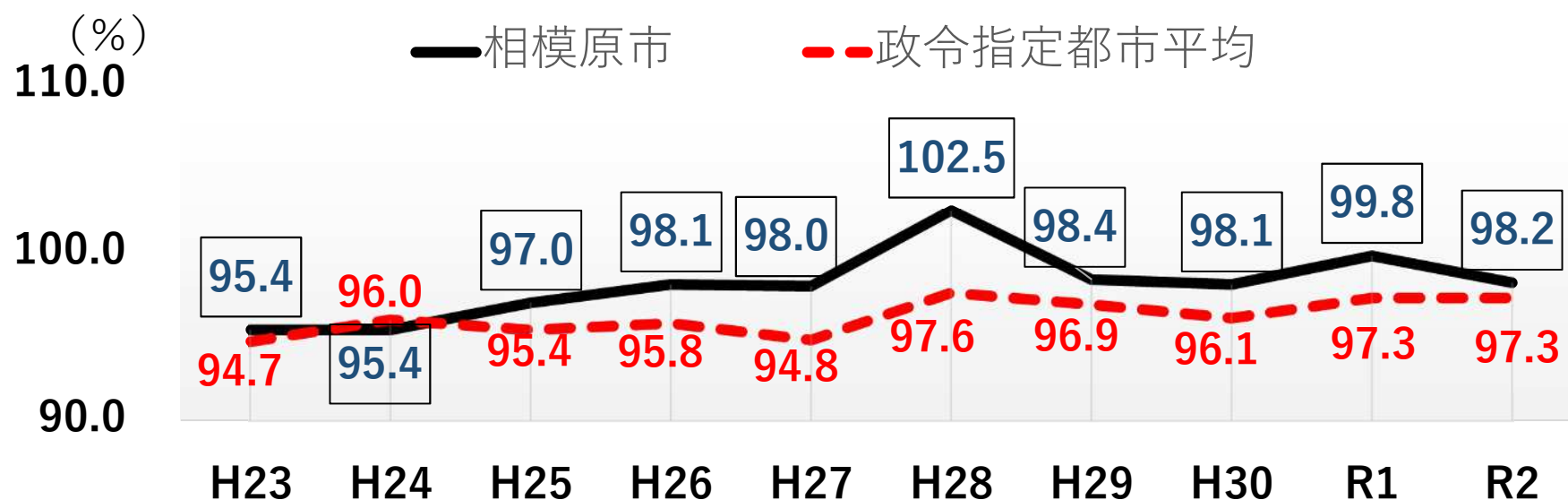
持続可能な行財政基盤を築く必要がある

■相模原市の財政状況③

経常収支比率

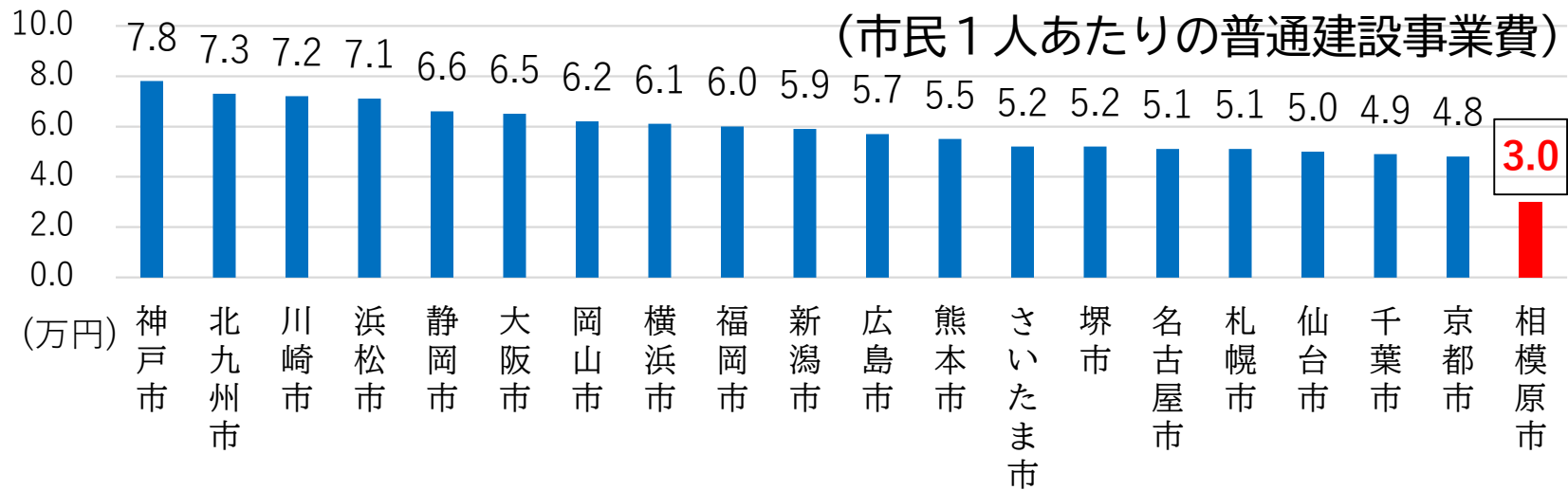
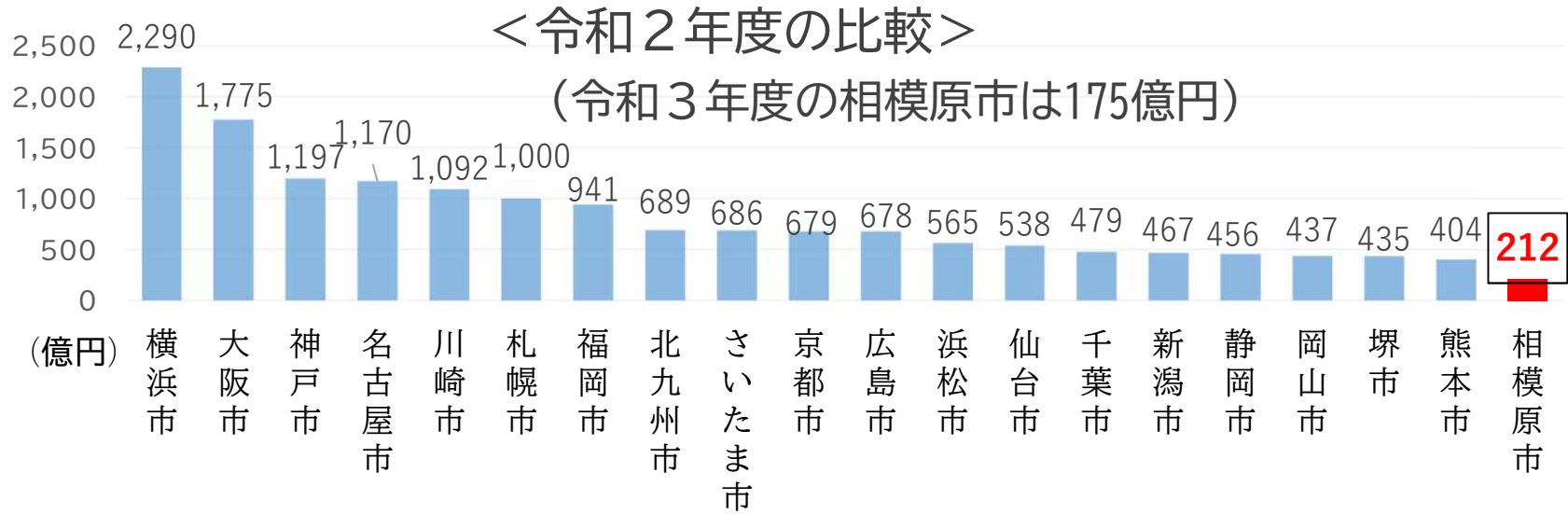
数値が低いほど、社会情勢などの変化に対応できる柔軟性がある。令和3年度は93.3%となったが、国からの交付税の追加交付など、コロナ禍の特殊な状況による一時的な改善。

毎月のお給料のほぼ全額を、食費、光熱費、ローン返済等の固定的な経費に使っている状況で、やりたいことや新しいことに取り組むお金がほとんどない。



■ 相模原市の財政状況④

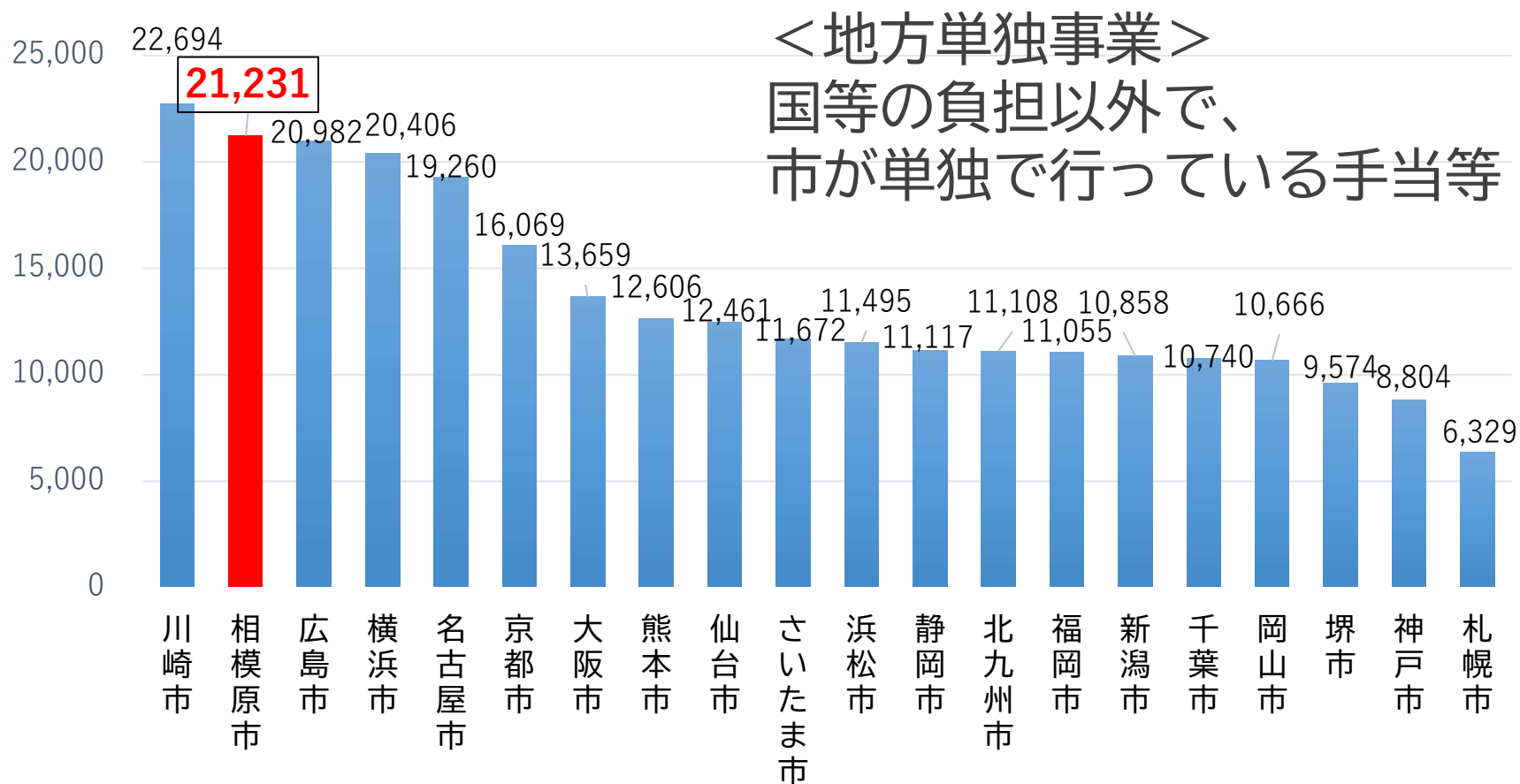
普通建設事業費（建物や道路等の新設や大規模改修経費）



■ 相模原市の財政状況⑤

扶助費（生活困窮者、高齢者、児童、障害者等への支援）

令和2年度 市民1人当たりの扶助費(地方単独事業) (円)



南市民ホールの集約化(廃止)について

(1)相模原市の財政状況

(2)公共施設の状況

(3)行財政構造改革プランとは

(4)南市民ホールが対象となった理由

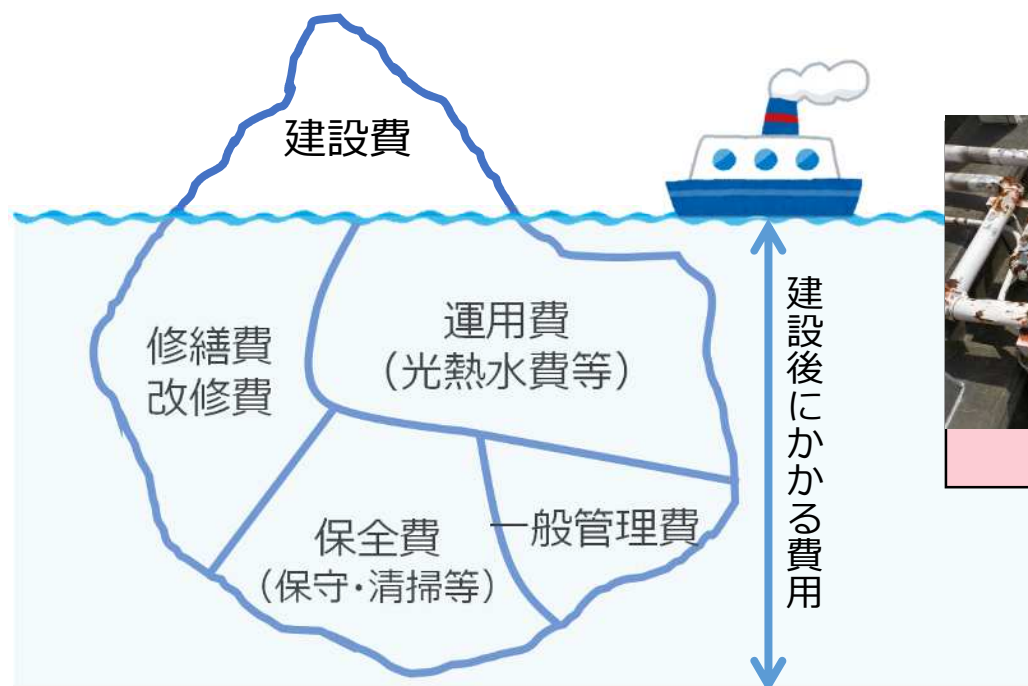
(5)文化活動の継続について

(6)今後の取組

■ 相模原市の公共施設(建築物)の状況 ①

＜維持管理にかかる将来コスト＞

一度、公共施設（建築物）をつくると、使わなくなるまでの間、建物の修繕費・改修費のほか、光熱水費や保守費といった施設運営のために必要な経費など、建設にかけた何倍もの費用が必要となります。（ライフサイクルコストの意識）



ライフサイクルコスト（LCC）概念図

適切な維持管理ができないと…



給水管の錆び

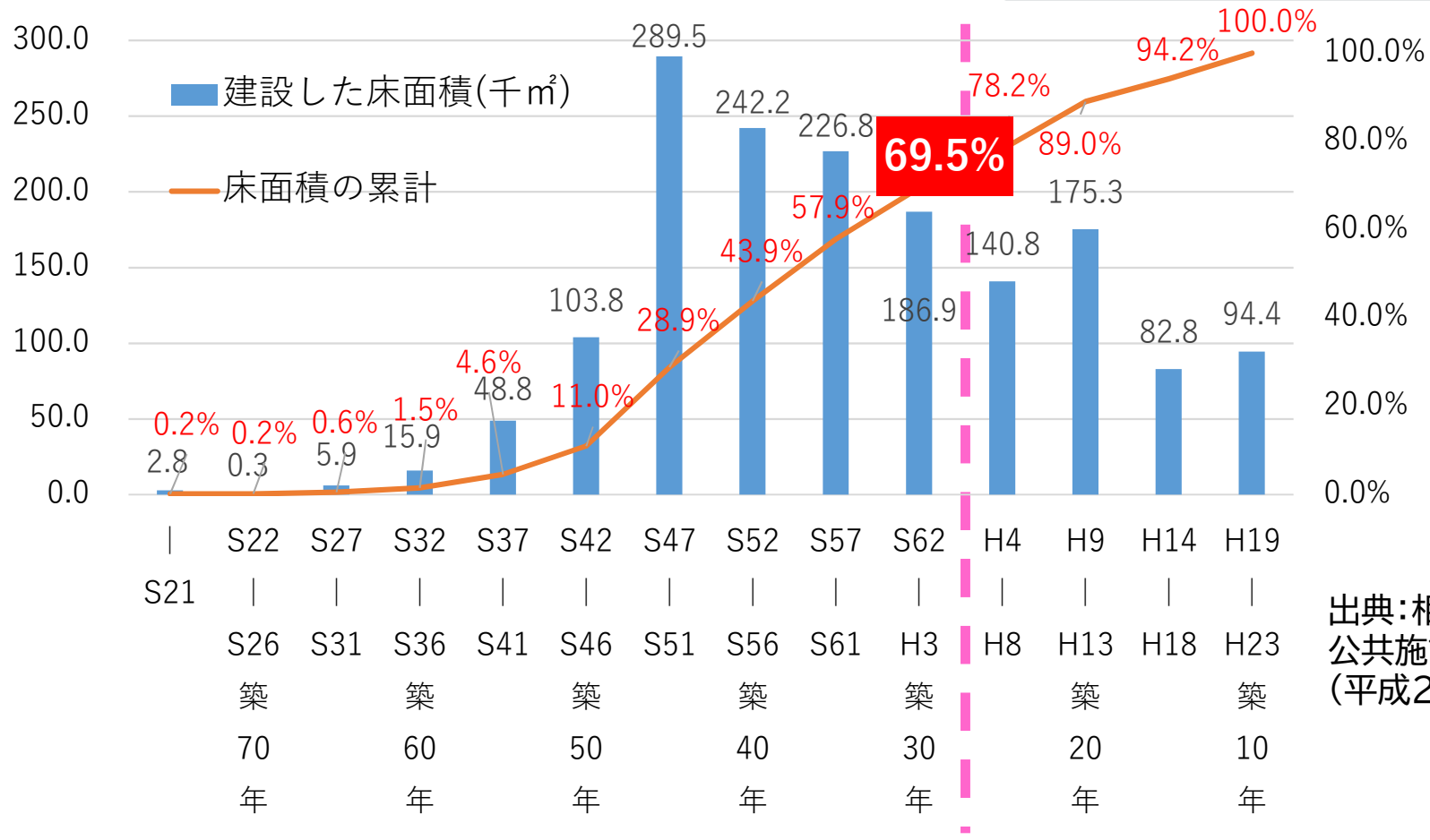


外壁剥離・鉄筋爆裂

相模原市の公共施設(建築物)の状況 ②

公共床全体の約7割が
築30年以上を経過している

昭和40年代から50年代前半
の人口急増期に整備した公共施設
の老朽化が進行しています。



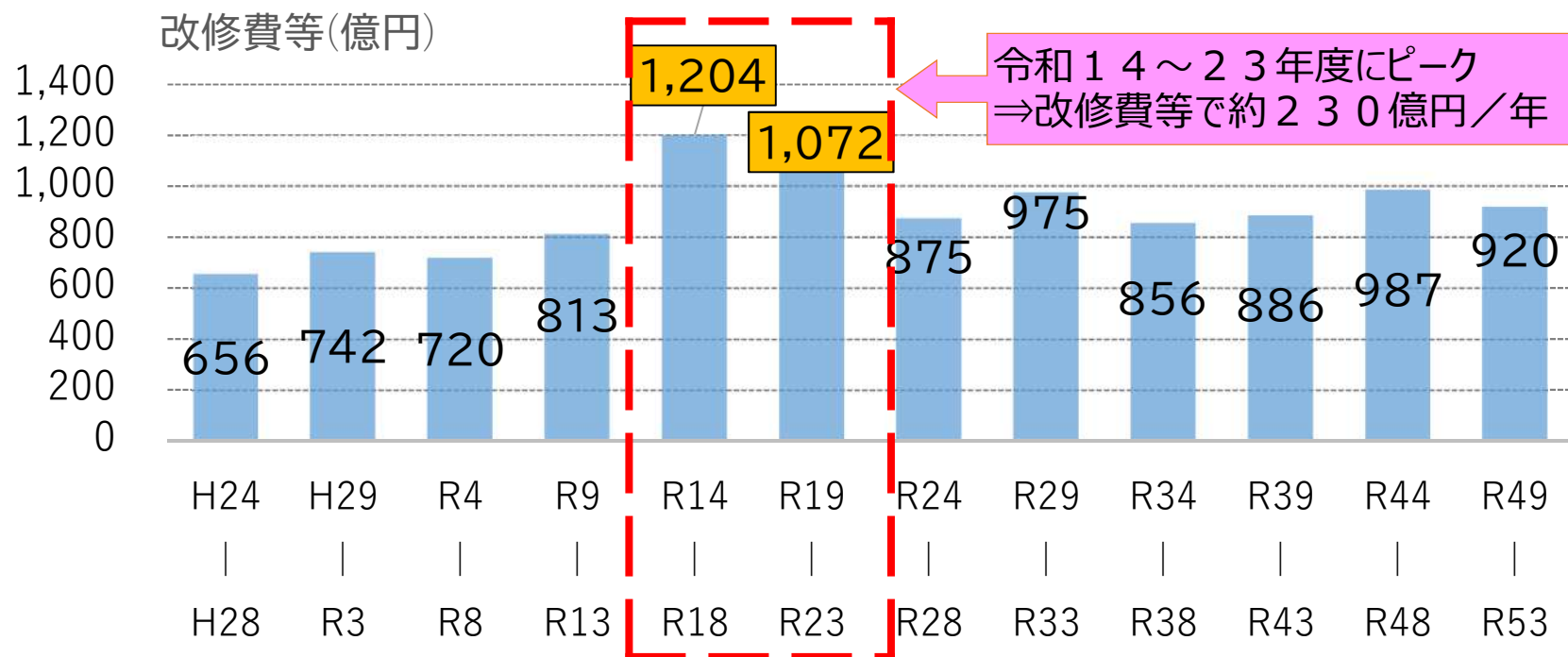
出典:相模原市
公共施設白書
(平成24年3月)

■相模原市の公共施設(建築物)の状況 ③

改修等にかかる5年ごとのコスト(試算)

出典：相模原市公共施設白書(平成24年3月)

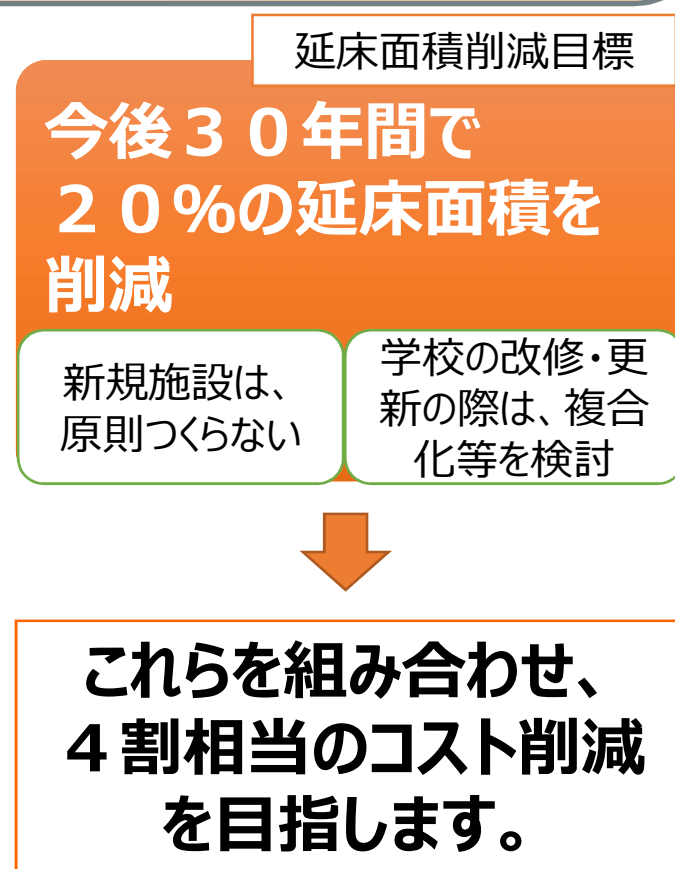
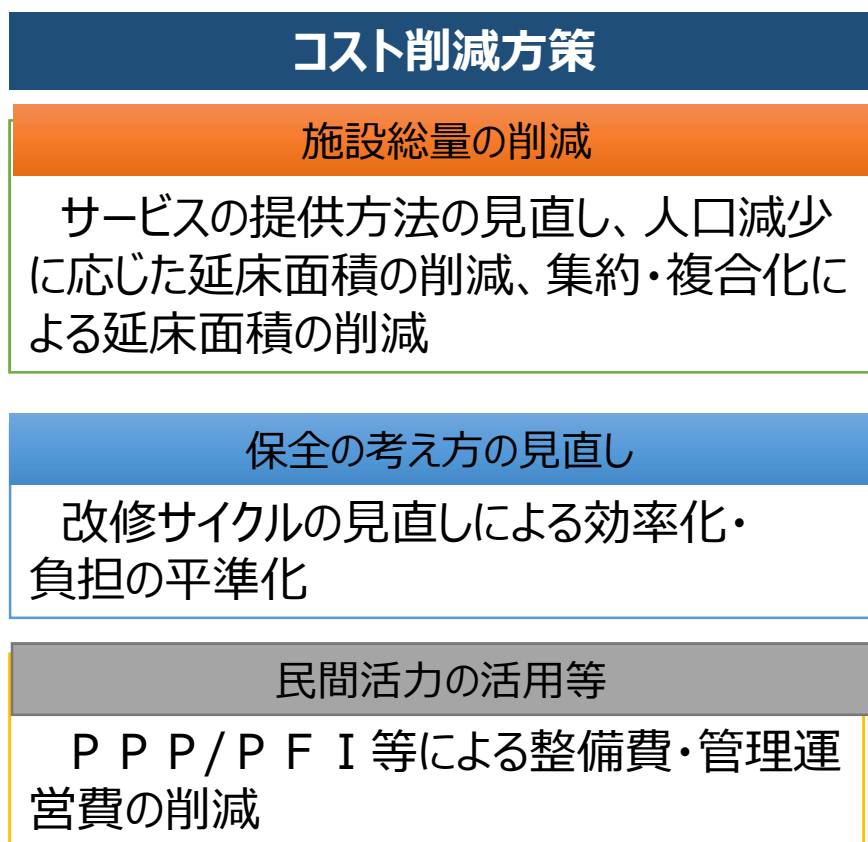
改修等に必要となる費用は年々増加し、令和23年度までがピークとなりますが、全ての施設を現状のまま維持し続けることは困難な状況です。



これまでの実績をはるかに上回る費用が毎年必要となります。

■ 公共施設マネジメントの取組

これまでの実績から、令和14～23年度のピーク時には6割程度しか改修等が行えません。4割相当のコスト削減に向け、施設の適正化や長寿命化、民間活力の活用など、今後、公共施設マネジメントに取り組む上での基本方針やコスト削減などの考え方をまとめました。（平成25年10月）



出典：公共施設の保全・利活用基本方針

南市民ホールの集約化(廃止)について

(1)相模原市の財政状況

(2)公共施設の状況

(3)行財政構造改革プランとは

(4)南市民ホールが対象となった理由

(5)文化活動の継続について

(6)今後の取組

■ 行財政構造改革プランとは(R3.4策定)①

1 歳出削減

- 新たなまちづくり事業等の選択と集中
- 既存公共施設等の見直し

2 歳入確保

- 市税収入等の確保対策
- 特定財源の積極的な確保

3 組織改革

- 政策決定プロセスの見直し
- 職員の意識改革

20年ほど先の将来像

潤いと活気に満ち
笑顔と希望があふれるまち
さがみはら

を実現します！

■ 行財政構造改革プランとは(R3.4策定)②

～既存の公共施設の見直し～

改修等経費、社会的ニーズの変化、少子化等を考慮して
集約化(統廃合)する施設や廃止の検討を進める施設

分類	施設名
文化施設	南市民ホール
窓口等	連絡所、パスポートセンター
福祉、医療施設等	津久井地域福祉センター、 南大野老人いこいの家、 城山障害者デイサービスセンター、 津久井障害者地域活動支援センター、 デイサービスセンター、串川診療所
教育、児童施設等	小学校、保育所等・幼稚園、児童館、 図書館相武台分館
スポーツ施設等	銀河アリーナ、市体育館、牧郷体育館
その他	あじさい住宅

■行財政構造改革プランとは(R3.4策定)③

～南市民ホールの位置付け～

【方向性：見直し 手法：集約化】

ホール部分の改修・更新は行わずに、
ホール等の類似機能を持つ南区の施設への集約化に向けた取組を実施する。

南市民ホールの集約化(廃止)について

(1)相模原市の財政状況

(2)公共施設の状況

(3)行財政構造改革プランとは

(4)南市民ホールが対象となった理由

(5)文化活動の継続について

(6)今後の取組

■南市民ホールが対象となった理由①

<施設の特徴>

	施設名	定員	建築年度	建物の特徴
文化施設	南市民ホール	400	S58	南区合同庁舎の敷地内の施設。区役所と1本の通路で接続。
	グリーンホール	1,790 240	H1	相模大野図書館、南メディカルセンターを併設する市内最大の施設。
	おださがプラザ	175	H19	小田急相模原駅のラクアルオダサガの区分所有の施設
	市民会館	1,270	S40	14の会議室等を併設する中央区最大のホール。
	杜のホール	535 200	H13	緑区最大のホール。橋本駅のミウィの区分所有施設
	もみじホール	298	H24	旧城山町の基金で完成した施設
特定の目的を有する施設	あじさい会館	358	S56	多目的な社会福祉活動の拠点。
	産業会館	208	H5	市内産業界の発展のため、産業情報の収集・提供等、各種事業を展開する「産業の情報と活動の拠点」
	サン・エール さがみはら	350	H11	勤労者、一般の皆様が学び、集い、憩う場。労働団体や企業の皆様の研修、会議などの場
	ユニコムプラザ	192	H24	市民と大学との連携による新たな地域活動・市民活動の創造の拠点として、相模大野駅ポーノ内に設置された施設。

■南市民ホールが対象となった理由②-1

<文化施設の修繕費>

		定員	建築年度	修繕見込み (R5~R10)	修繕見込み (R11~R15?)	改修費見込み (今後10年間)
南区	南市民ホール	400	S58	照明、舞台、特定天井 約3億円	外壁・配管など 3億円以上	6億円以上
	グリーンホール 大ホール	1,790	H1	特定天井、 エレベーターなど 約10億円	大規模修繕 20億円以上	30億円 以上
	グリーンホール 多目的ホール	240				
	おださがプラザ 多目的ABC	175	H19	当面なし	当面なし	当面なし
中央区	市民会館	1,270	S40	特定天井 5千万円	舞台設備1億円	1.5億円
緑区	杜のホール ホール	535	H13	ビルの共用部分改修 負担金、特定天井等 約3億円	舞台機構など 部位別修繕 約13億円	15億円
	杜のホール 多目的室	200				
	もみじホール	298	H24	当面なし	特定天井 約5千万円	0.5億円

※各施設の修繕費や実施時期は見込みであり、確定していませんが
今後10年間で50億円以上必要となる見込みです。

■南市民ホールが対象となった理由②-2

南市民ホールの施設の老朽化の状況（主なもの）

	設備名称	概算費用	状況
1	舞台調光・照明設備等	1億1,500万円	電子基板の劣化が進行しており、R4.3に誤作動が発生。交換用部品の供給が終了しているため修繕不能で、設備全体の更新が必要な状況。
2	舞台機構・吊物制御、幕地・緞帳等	1億1,100万円	経年劣化により吊物の巻き上げ機の動作不良の発生が懸念される。舞台幕地・緞帳は経年劣化による破れ、透け等が生じ、防災加工も必要。
3	特定天井（落下防止）	5,000万円	平成26年に改正された建築基準法施行令の基準に合致していない状況となっている。 （違法ではないが、増改築等をする場合に現行法の基準に適合させる必要がある）
4	その他	2,350万円	座席修繕、マイクシステム、トイレ洋式化等
計		2億9,950万円	（物価高騰により見積時より上昇する見込み）

長期間運営を継続する場合、建物の外壁や配管などの大規模改修工事のため、これとは別にさらに3億円以上を要する見込みです。

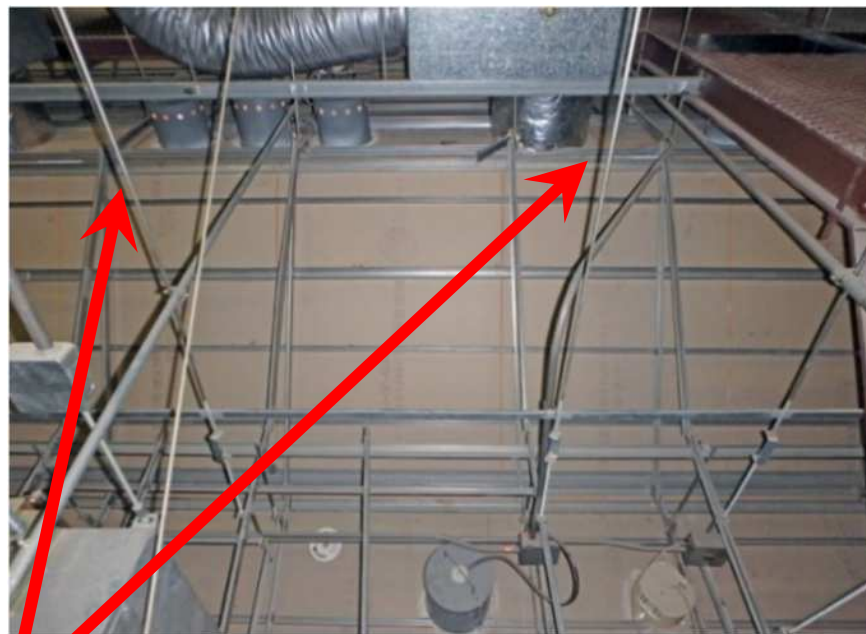
■南市民ホールが対象となった理由②-3

特定天井とは

南市民ホール



南市民ホール天井裏



吊りボルト

■南市民ホールが対象となった理由③

<各施設の運営経費(貸し施設部分のみ(事務室など除く))>

	H30/31平均	運営コスト(A) (改修費等除く)	利用料等収入(B) (H30, 31平均)	差額 (A-B)	割合 (B/A)
文化施設	南市民ホール	5,586万円	1,608万円	3,978万円	28.8%
	グリーンホール	2億7,638万円	1億3,418万円	1億4,220万円	48.5%
	おださがプラザ	3,264万円	949万円	2,315万円	29.1%
	市民会館	1億3,721万円	4,740万円	8,981万円	34.5%
	杜のホール	2億3,788万円	6,548万円	1億7,240万円	27.5%
	もみじホール	4,632万円	757万円	3,875万円	16.4%
特定の目的を有する施設	あじさい会館	1億882万円	1,379万円	9,503万円	12.7%
	産業会館	8,562万円	2,092万円	6,470万円	24.4%
	サン・エール	8,703万円	2,816万円	5,887万円	32.4%
	さがみはら	7,338万円	3,111万円	4,227万円	42.4%
	ユニコムプラザ	7,338万円	3,111万円	4,227万円	42.4%

年間5億円

■南市民ホールが対象となった理由④

<各施設の利用料金>

	施設名	定員 (人)	適正な料金 (A)	現在の料金 (B)	割合 (B/A)
文化施設	南市民ホール	400	104,260円	47,300円	45.4%
	グリーンホール 大ホール	1,790	295,376円	290,300円	98.3%
	グリーンホール 多目的ホール	240	40,179円	39,400円	98.1%
	おださがプラザ 多目的ABC	175	54,491円	28,000円	51.4%
	市民会館	1,270	145,394円	145,300円	99.9%
	杜のホール ホール	535	282,669円	135,200円	47.8%
	杜のホール 多目的室	200	64,120円	30,400円	47.4%
	もみじホール	298	53,132円	31,700円	59.7%
特定の目的を有する施設	あじさい会館 ホール	358	37,300円	37,300円	100%
	産業会館 多目的ホール	208	31,500円	31,500円	100%
	サン・エールさがみはら ホール	350	29,753円	25,000円	84.0%
	ユニコムプラザ セミナールーム1,2	192	58,075円	33,600円	57.9%

■南市民ホールが対象となった理由⑤

<文化施設の利用率>

施設	利用率(区分)					
	H30			R3		
	総区分	利用	利用率	総区分	利用	利用率
南市民ホール (下段：直前割を除く)	1,006	608	60.4%	1,006	637 (564)	63.3% (56.1)
グリーンホール 大ホール	891	735	82.5%	893	606	67.9%
グリーンホール 多目的ホール	921	628	68.2%	930	559	60.1%
グリーンホール リハーサル室	935	702	75.1%	981	646	65.9%
おださがプラザ 多目的ABC	1,044	827	79.2%	1,042	531	50.8%
市民会館	996	612	61.4%	1,002	459	45.8%
杜のホール ホール	932	687	73.7%	957	520	54.3%
杜のホール 多目的室	975	770	79.0%	975	530	54.4%
もみじホール (下段：直前割を除く)	992	455	45.9%	982	472 (408)	48.1% (41.5)

■南市民ホールが対象となった理由⑥

他の施設を廃止の対象外とした理由

・ 施設の特性

各区地域の代表的な施設は廃止できない

→グリーンホール、杜のホール、市民会館が該当

・ 建物の形状

区分所有の建物は、文化施設部分だけの解体はできないため、市の意向だけで廃止を決められない。

→杜のホール、おださがプラザの廃止は非常に困難

・ その他特別な理由

もみじホールは旧城山町民が貯めた基金で建設し、合併と同時に相模原市所有となった。築10年で当面の改修コストが低い

■南市民ホールが対象となった理由⑦

南市民ホールを廃止の対象とした理由

・老朽化対策経費

運営を継続する場合、令和9年度までに3億円、令和10年度以降も躯体の修繕でさらに3億円以上を要する見込み(P20)

・利用料金が低い割に利用率が低い(H30)

「適正な料金」に対する「現在の料金」が最も低い(P24)にもかかわらず、文化施設の中で2番目に利用率が低い(P25)

■南市民ホールが対象となった理由⑧

廃止時期を令和6年9月末とした理由

- ・行財政構造改革プランの計画期間中（令和3～9年度）の実施
- ・「ホール部分の改修・更新は行わずに」という制約がある中、設備の老朽化が現在も進行している
- ・代替え施設の1つとなるグリーンホール多目的ホールの特定天井の対策がこの時期には完了する見込み

	令和5年度	令和6年度
南市民ホール		R6.9 廃止
グリーンホール 多目的ホール	特定天井設計	天井工事 (休館)

南市民ホールの集約化(廃止)について

(1)相模原市の財政状況

(2)公共施設の状況

(3)行財政構造改革プランとは

(4)南市民ホールが対象となった理由

(5)文化活動の継続について

(6)今後の取組

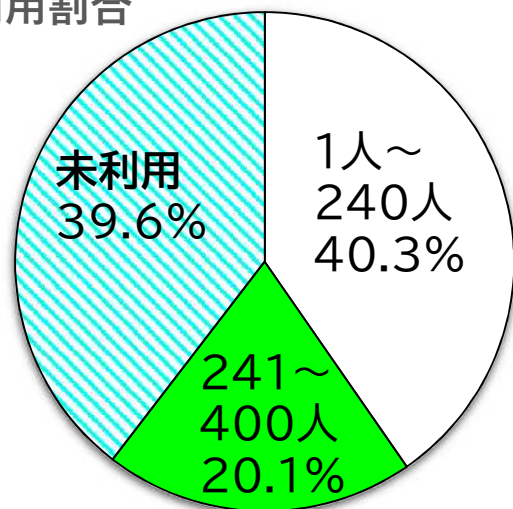
■文化活動の継続について①

南市民ホールの利用状況(H30)

※直前の準備にも入場者がいたものとして数えています。

	入場者数	1~30人	31~80人	81~175人	176~200人	201~240人	241~400人	利用区分の計(A)	未利用	利用可能区分数(B)	利用率(A/B)
南市民ホール (定員400人)	土日祝	22	46	80	35	11	106	300	44	344	87.2%
	平日	70	36	64	21	21	96	308	354	662	46.5%
	計	92	82	144	56	32	202	608	398	1,006	60.4%
	利用率	40.3%						20.1%	60.4%	39.6%	100%

利用割合



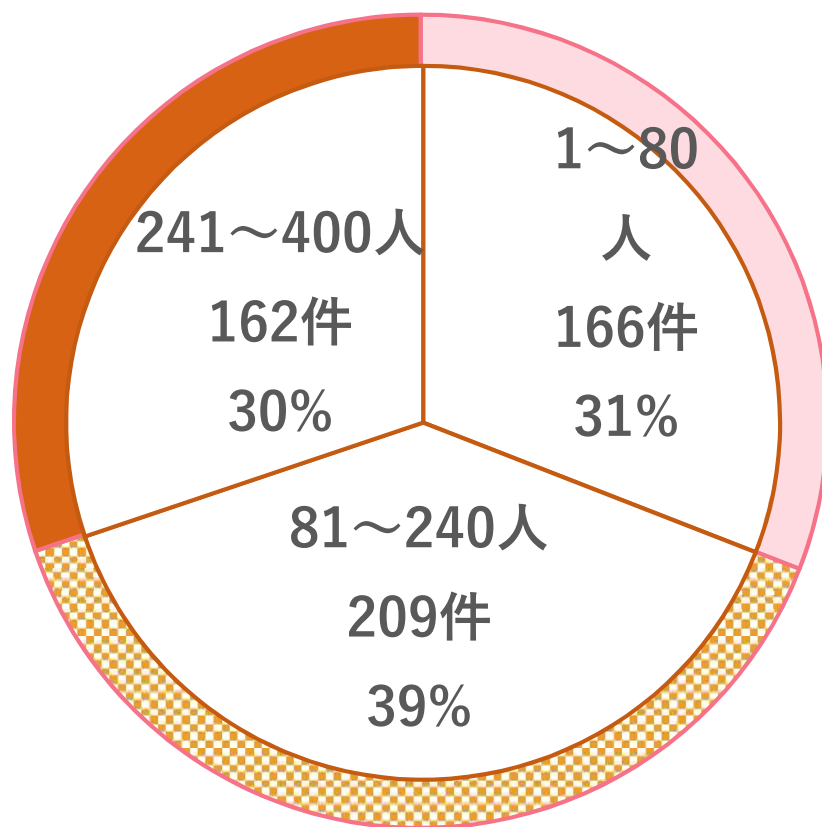
【特徴】

- ・土日の利用率は高い一方、平日は低い
- ・多目的ホール(240人)の収容人数を超える催事は年間の1/5(20.1%)ほど
- ・土日祝日でも241人以上の催事は3割ほど(利用106/利用可能区分数344)

■文化活動の継続について②-1

コンサートや練習など、文化芸術活動を行う場合の代替え施設のご提案です。

文化芸術活動での利用



年間計537件(H30)

80人以下でご利用の場合

練習室、公民館、リハーサル室、おださがプラザ、あじさい会館など

81~240人でご利用の場合

グリーンホール多目的ホール
産業会館など

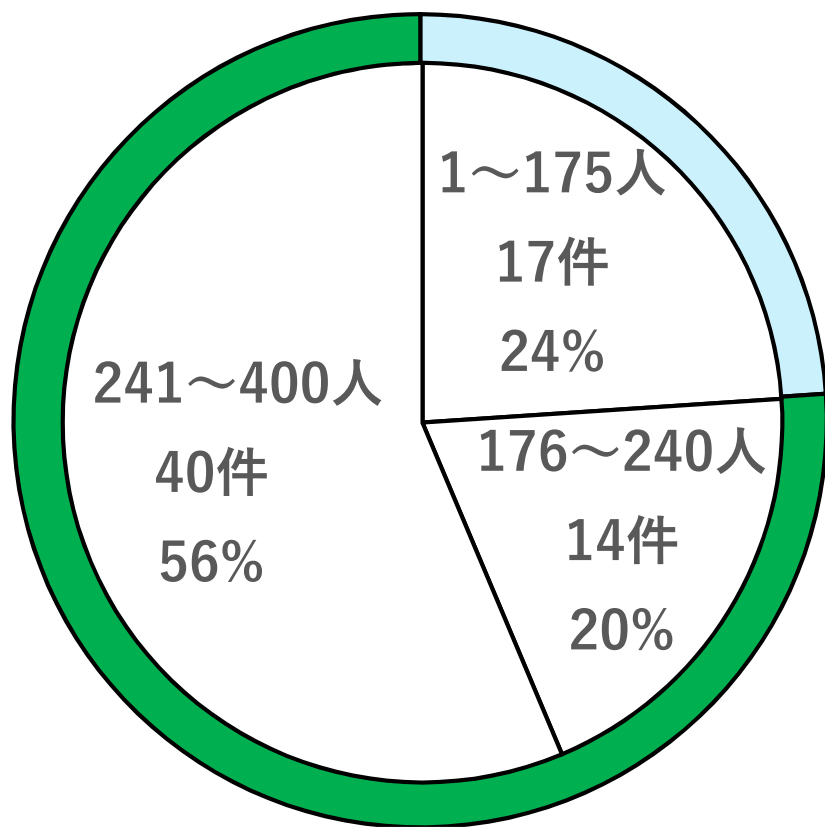
241人以上でご利用の場合

グリーンホール大ホール
市民会館、あじさい会館など

■文化活動の継続について②-2

企業や団体による説明会や会議など文化活動以外を行う場合の代替え施設のご提案です。

文化活動以外の利用



年間計71件(H30)

175人以下でご利用の場合

おださがプラザ、
ユニコムプラザなど

176人以上でご利用の場合

産業会館、市民会館、
グリーンホールなど

■文化活動の継続について③

令和5年の他施設の土日祝日の空き状況（11/11時点調べ）

	グリーンホール 大ホール※	市民会館※	あじさい会館	杜のホール	合計
定員	1240人	799人	358人	535人	
料金(休日1日)	261,700円	149,520円	49,600円	175,700円	
1月(休日27区分)	5	1	17	3	26
2月(27区分)	5	9	10	5	29
3月(27区分)	0	0	8	7	15
4月(30区分)	5	9	20	6	40
5月(33区分)	3	7	27	9	46
6月(24区分)	2	7	予約受付 期間外	2	11
7月(27区分)	3	7		8	18
8月(27区分)	0	9		5	14
9月(30区分)	2	16		10	28
10月(30区分)	5	5		8	18
11月(30区分)	6	9		2	17
計	36	79	82	65	262

※グリーンホールと市民会館は入場者を区切った定員・料金

南市民ホールの集約化(廃止)について

(1)相模原市の財政状況

(2)公共施設の状況

(3)行財政構造改革プランとは

(4)南市民ホールが対象となった理由

(5)文化活動の継続について

(6)今後の取組

■ 今後の取組

各団体等への個別説明
駅前でのアンケート調査 等



ご意見の取りまとめ



最終的な方針についてご説明



■ 今後の文化振興に関する取組

- グリーンホールや杜のホールはしもと、市民会館などの特定天井の解消、老朽化対策
- 多目的ホール等のトイレ洋式化の推進
- 施設予約受付システムの検討
- アートラボはしもとの再整備

